

人間科学研究科人間科学専攻修士課程人間科学領域 事業概要

人間科学研究科人間科学専攻修士課程人間科学領域は、人間の発育・行動・心理について、死生学、発育・発達学、社会福祉学、教育学、宗教学の視点から専門的、多角的、学際的に研究することを特色としている。本領域のカリキュラムは、基礎的研究の上に現代社会の実際的問題に関する研究と教育を重視して編成されている。例えば、児童福祉、高齢者福祉、現代女性論、非行問題、在宅ホスピス論、ターミナルケア論、生命倫理などが扱われる。高齢化社会における在宅看護、終末医療等の介護・看護問題、児童虐待や育児放棄等の児童福祉問題等の今日的な社会的要請に応じるため、人間社会に関する幅広い高度な研究と教育を通して、医療・社会福祉・教育等の職業領域で活躍ができる専門職業人の育成を目的とする。大学院修了後は、各人が研究成果を職業現場で実践し、職場や仕事の改善、自らの能力開発に役立てている。